Nauticam

V2 ハウジング　取扱説明書

For Nikon1 V2

目次

安全にお使いいただくために ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
事前チェック ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
各部名称 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
【取扱方法】
　リアケースの開閉方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
　カメラのセッティング ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
　レンズポートの取り付け方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
ストロボについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
ダイビングの前に ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
メンテナンス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
保証規定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
保証書 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16

＊取扱説明書について

- 本書の内容につきましては、予告なく変更させていただくことがあります。
- 本書の内容について万一、誤り、記載漏れ、印刷ミス、不明な点などございましたら、恐れ入りますが弊社、もしくはお近くの販売店までご連絡をお願いいたします。
- 本説明書の一部もしくは全ての転載、コピーなどは個人でご使用になるもの以外一切認められません。

安全にお使いいただくために

●このたびは防水ハウジングノーティカムV2をお買い上げいただきありがとうございます。
●この説明書を必ずお読みの上、正しくお使いください。
●誤った使い方をされますと、カメラ、ハウジングの故障や水没の原因となり、修理不能になる場合があります。
●ご使用の際にはこの説明書に従い必ず点検、テストを行ってください。
●カメラの水没、故障、データの消失による補償や、分解、改造、修理に伴う事故等に関し、当社では一切責任を負いかねますので、ご了承ください。また、使用時の人身、物損事故に関しての補償は致しかねます。
●当製品は削り出し工法により作られております。そのため、多少の傷、切削目がありますが、動作には支障ありません。それに伴うクレーム等はご容赦ください。

安全上の注意

ここに表示した注意事項は、状況によっては重大な結果に結びつくおそれがあります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

危険　取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。

警告　取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

注意　取扱いを誤った場合に、傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。

危険

●デジタルカメラに使用するリチウムイオンバッテリー接点部同士を、金属板や針金などで絶対に接続しないでください。感電や発火の原因になります。
●本製品を絶対に改造・分解しないでください。水没や発熱、発火の原因になります。
●本製品を水中で使用する際は、常に水深や潜水時間にご注意ください。撮影に集中しすぎると潜水事故につながる危険性があります。

警告

●本製品を乳児、幼児、小さなお子様など、本製品の取扱いの注意について理解できない人の手の届く場所に保管しないでください。落下によるけがやOリングを巻き付けるなどによる窒息、小さい部品を飲み込むなど、事故の原因になります。
●使用されないときにはデジタルカメラ本体を取り出してください。電池の故障による発火等のおそれがあります。
●本製品には樹脂製素材を使用しております。強い衝撃や圧迫によって破損した場合、破片や割れた本体部分に接触するなどしてけがをするおそれがあります。取扱いには十分にお気をつけ下さい。
●本製品に付属するOリングやグリスなどは食べられません。

⚠ 注意

●本製品は100mの水深まで耐えられるように設計されています。それ以上深い場所で使用されたり、それより浅い深度においても衝撃や圧迫を加えますと破損したり、浸水したりするおそれがありますので、ご使用深度やご使用方法について十分にお気をつけください。また、各ポート類にはそれぞれの耐圧深度が設定されています。合わせてご使用になる付属品およびポートの耐圧深度にご注意ください。

●浸水や故障などの事故を防ぐためにこの説明書を良くお読みになり、ご使用前後に点検とメンテナンスを必ず行ってください。

●気温が異常に高くなる、あるいは低くなる場所、極端に大きな温度変化がある場所などに本製品を置いたり、保管したりしないでください。部品が劣化し、破損したり防水機能を損なったりするおそれがあります。

●砂や塵、ほこりなどが多い場所でリアケースを開閉すると、防水部分に異物が付着し、防水性能が損なわれ、水漏れの原因となることがありますので、絶対に行わないでください。

●飛行機で移動する場合などは、本体のOリングを外しておくことをおすすめします。気圧の関係でリアケースが開かなくなったり、またその状態で無理に開こうとすることでリアケースが破損し、けがをするおそれがあります。

●アルコールやベンジン、シンナーなどの有機系溶剤は、変形等の原因になるおそれがありますので絶対にご使用しないでください。

●万一、浸水がおきた場合、すぐに使用を中止してください。また、浸水している場合、本製品内部の圧力が高くなっていることがあります。ハウジングのリアケースを開ける際、水が噴き出したり、本体が跳ねたりすることがありますので、取り外しの際は十分ご注意ください。

●製品は樹脂製素材を使用しています。使用中に岩などにぶつけて強い衝撃を与えると破損する場合があります。取り扱いには十分注意をして下さい。

●ダイビングエントリー方法によっては製品に衝撃を与えることになり、水没、破損の原因になる恐れがありますので、エントリー後に手渡してもらうなど、特に注意してください。

●リアケースを開閉する場合、ほこりやゴミに注意して下さい。Oリングの破損から浸水につながる恐れがあります。

●ご使用の前には必ず説明書に従い、Oリングのメンテナンスを行って下さい。特にグリスアップを怠ると、Oリングのねじれや劣化につながり水没するおそれがあります。

●内部をよく乾燥させて下さい。水滴が残っている場合、結露を起こします。使用環境、温度差、湿度により結露を起こす場合は、FIXシリカゲル、FIXシリカシート、リークインシュアをご使用ください。

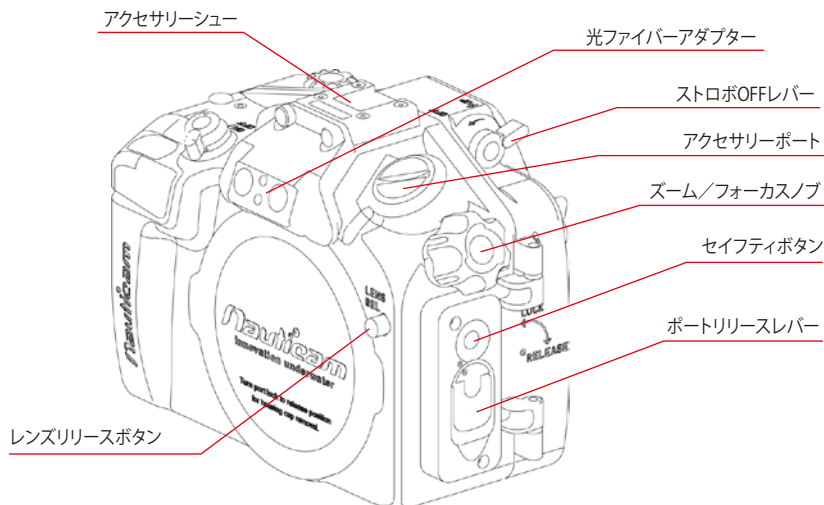
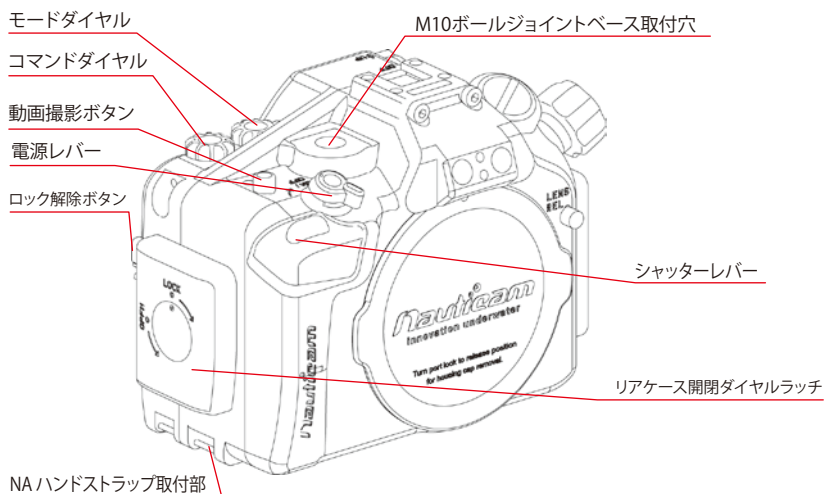
●ご使用前に直射日光のあたる場所に放置しないでください。ハウジング内部の温度が上がった状態でエントリーすると、急激な温度変化により結露を起こす場合があります。

事前チェック

●この取扱説明書はお客様が、すでにNikon1 V2カメラのご使用方法を熟慮されていることを前提に書かれています。もし、まだカメラのご使用に不慣れであれば、ハウジングのご使用前にカメラ本体の説明書を再度お読みいただきますようお願いします。
●商品を開梱する前に、梱包されてきた箱に輸送時のダメージ等が無いかどうかをご確認ください。もし、大きなへこみ等、気になる点があればお届けした配送業者あるいはご購入店へすぐにご連絡ください。
●全てのハウジングは出荷前に耐圧検査を実施の上で出荷しておりますが、輸送時等に何らかのトラブルが発生する場合があります。ダイビング等でご使用なる前に、一度カメラを装填せず、防水性能を確認いただくことを強くお薦めいたします。
●ご使用前に付属品がすべてそろっているかお確かめください。

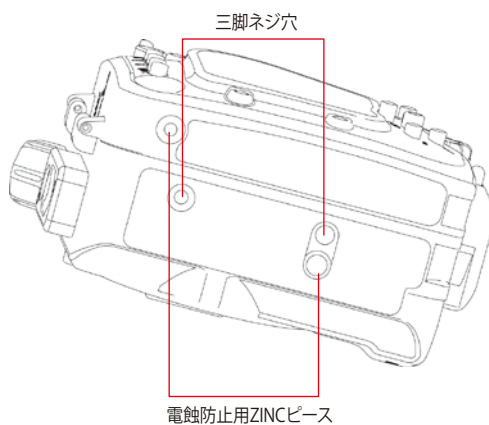
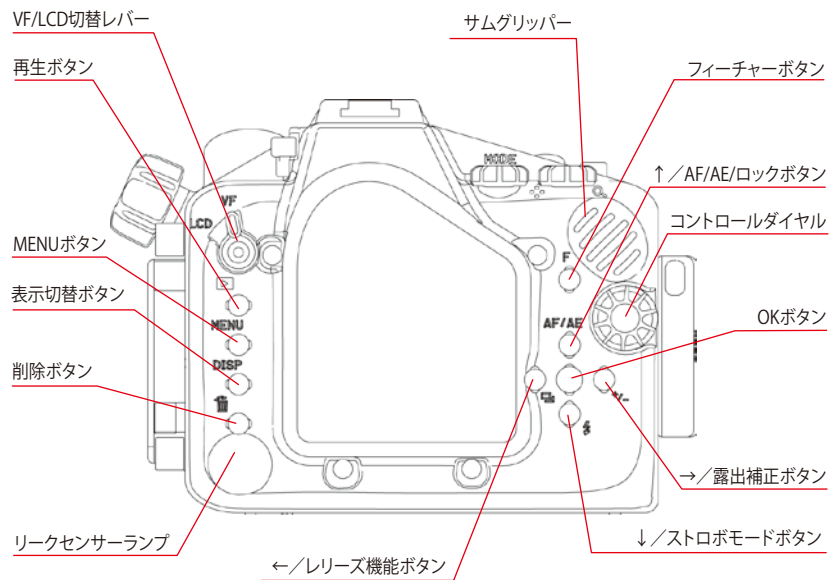
仕様

対象カメラ	Nikon1 V2
最大水深	100m（＊各ポートの耐圧深度にご注意ください）
材質	アルミ合金
	耐摩擦性ポリカーボネイト、アクリル、ゴム、ステンレス等
サイズ（本体）	W178mm x H126mm x D104mm
陸上重量	947g（ハウジングのみ）
付属品	カメラ固定プレート
	光ファイバーアダプター（固定ビス×2）
	スペアOリング
	CR2032電池
	Oリングリムーバー
	Oリンググリス
	六角レンチセット
	取扱説明書（保証書）

各部名称

ボタンの詳細な説明はカメラの取扱説明書をご覧ください。

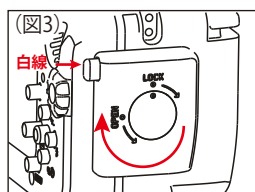
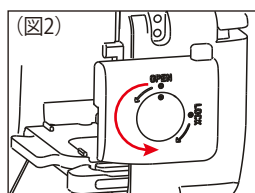
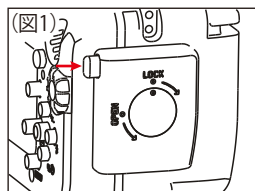
フラッシュウインドウ

VF/LCD切替レバー
再生ボタン
MENUボタン
表示切替ボタン
削除ボタン
リークセンサーランプ
←／レリーズ機能ボタン
サムグリッパー
フィーチャーボタン
↑／AF/AE/ロックボタン
コントロールダイヤル
OKボタン
→／露出補正ボタン
↓／ストロボモードボタン
VF
LCD
MENU
DISP
MODE
F
AF/AE

三脚ネジ穴
電蝕防止用ZINCピース

取扱方法

リアケースの開閉方法

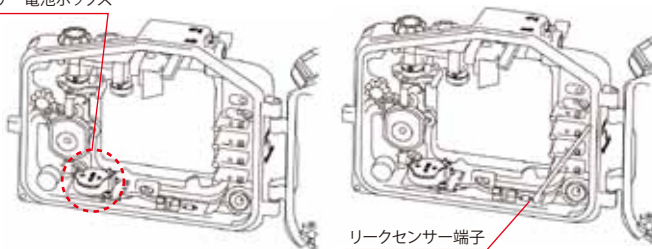
【開け方】
1.　ロック解除ボタンを押したままリアケース開閉ダイヤルラッチを「OPEN」方向に回転させます。(図1)
2.　リアケースがリリースされますので、矢印方向にゆっくりと開放してください。(図2)

【閉め方】
1.　OリングとOリング接地面にゴミなどの付着物がないか確認します。詳しくは14ページ「Oリングのグリスアップ」をご参照ください。
2.　リアケースの凸部がリアケース開閉ダイヤルラッチの溝に入り込むように、フロントケースに合わせます。
3.　ロック解除ボタンを押しながら開閉バックルを「LOCK」方向へ回転させます。(図3)
4.　リアケースがしっかりロックされていることを確認してください。
5.　リアケースとフロントケースが均一に閉まっていることをご確認ください。

 注意　ロック解除ボタンの白線が表示され、リアケースがロックされたことを必ずご確認ください。

注意　リアケースの開け閉めは、湿気やほこりの少ない清潔なところで行ってください。

リークセンサー

ノーティカムハウジングにはリークセンサーが標準装備されています。万一、ハウジング内に浸水が発生した場合、音とランプで知らせます。
ご使用前にリークセンサーが働くかどうか確認して下さい。
1.　付属の電池CR2032をリアケース内側の回路基板上の所定の場所にセットします。
2.　リークセンサーの端子2本を軽く湿らせた綿棒で触ってみて下さい。LEDが赤く点灯し、アラーム音がすれば異常ありません。その後、乾いた布などで端子表面を軽く拭いてください。警報音と点灯は、約5秒間継続します。

＊LEDが点灯せず、アラーム音が発しない場合は電池を交換し、再度お試しください。

カメラのセッティング

＊セッティングは「カメラの電源OFF」の状態で行ってください。

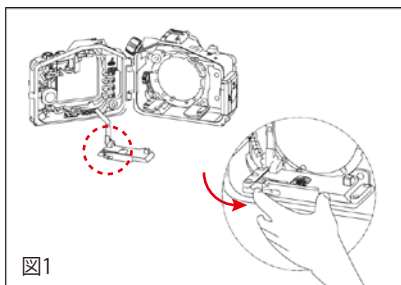
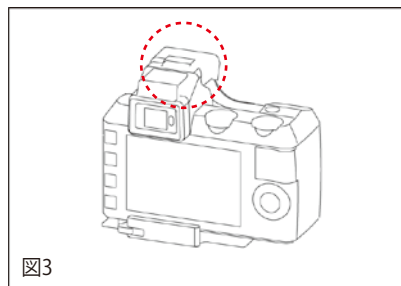
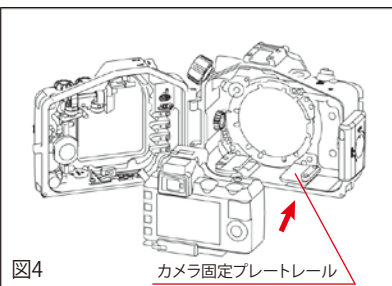
【カメラ本体の装填方法】

1.　[リアケースの開閉方法]にしたがってリアケースを開けます。
2.　ロックレバーを横にスライドさせながら、カメラ固定プレートを引き出します。(図1)
3.　カメラの設定、電池の残量や記憶媒体の有無・容量を確認し、カメラ本体にカメラ固定プレートを取り付けます。(図2)
4.　カメラ本体の内蔵ストロボをポップアップさせてください。(図3)
5.　カメラ固定プレートをフロントケースのレールに沿って差し込みます。ロックレバーがカメラロックプレートにかかったことを確認してください。(図4)
6. [リアケースの開閉方法]にしたがってリアケースを閉じます。

図1

図2

図3

図4

Nikon1 V2の内蔵ストロボは、ボタン操作による手動ポップアップ方式です。セッティングの際には必ず内蔵ストロボをポップアップさせてください。

レンズポートの取り付け方

ノーティカムシステムチャートをご覧になり、対応ポートをご確認ください。

1. ポートからOリングを取りはずし、傷がないか確認します。付属のグリスを薄く塗布した後、ポートの溝にはめ込みます。Oリングの溝にもゴミ等が付着していないことを必ず確認してください。
2. ハウジングのポート開口部に汚れ、異物が付着していないことを必ず確認してください。
3. ポートリリースレバーを上方向へ立ち上げます。（図1）
4. セイフティボタンを押しながら、ポートリリースレバーを時計回りいっぱいまで回転させます。（図2）
5. ポートとハウジングの取り付け指標を合わせます。指標はポートとハウジングに白い○印で表示されています。（図3）
6. ポートをハウジング開口部に合わせ、ゆっくりと奥まで押し入れます。ポートのOリング部がハウジングポートマウントにきちんとはまっているか全周を確認してください。
7. ポートリリースレバーを反時計回りに回転させポートをロックしてください。カチッという音がしてポートリリースレバーが固定されたら、元通りに倒し込んでください。（図4）

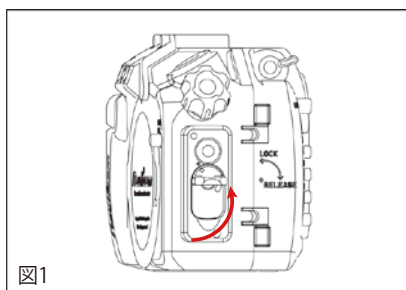
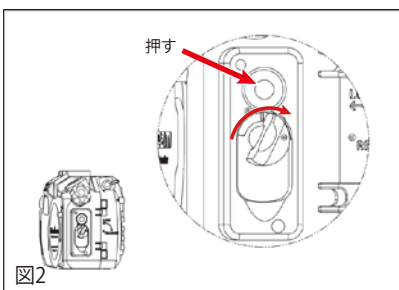
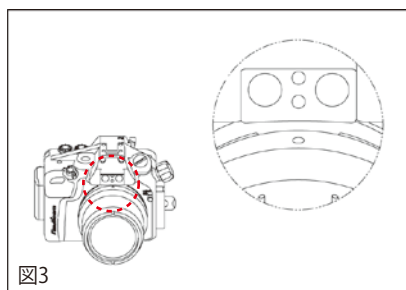
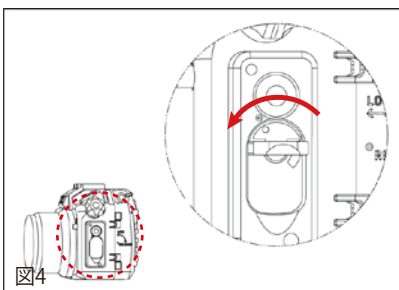
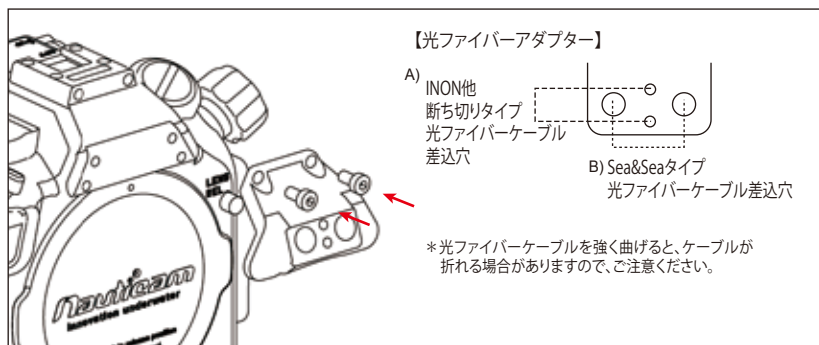



図1　図2　図3　図4

※ ポートの取り外しは、上記の逆の手順にて行ってください。

注意　逆光時の撮影の際、ポート内のレンズやギアなどの反射がポートのガラスに写り込む場合があります。その際は、写り込みのない位置で撮影を行ってください。

外部ストロボの接続

【オプチカルファイバーアダプターの取付】＊出荷時は取り付けられた状態です。
1.　付属のオプチカルファイバーアダプターを付属の六角レンチを使用し、ビス2本でしっかりと固定します。
2.　専用のオプチカルファイバーケーブルを2本、断ち切りタイプのケーブルを2本まで差し込むことが可能です。オプチカルファイバーアダプターの穴に、オプチカルファイバーケーブルのコネクターをしっかりと差し込んでください。

ダイビングの前に

Oリングのグリスアップ

ハウジング本体は、Oリングを使用して防水しています。
お客様ご自身でメンテナンスや交換が可能なOリングは本体開閉部の1ヶ所です。付属のシリコングリスを指先に少量取り、全体に薄くのばしていきます。その時Oリングを引っ張らないで下さい。指先が引っかかる場合は、ゴミ、塩分の付着があると思われます。そのような場合、Oリングに傷をつけないよう丁寧に取り除いてください。傷がある場合は、Oリングをただちに交換してください。終わりましたら、元どおり、ねじれがないよう溝にはめ込んでてください。

注意

Oリングの防水性能を生かすために、下記の点にご注意してお取り扱いください。浸水等の原因になります。

a. 本体のリアケースにはまっているOリングをはずします。その際、絶対に金属製の鋭利なもの（はさみの先端、釘、ナイフ等）でOリングをはずさずに、付属の「Oリングリムーバー」をご使用ください。
b. Oリングの摩擦や劣化を防ぐために、はずしたOリングの表面に付属のOリンググリスを薄く塗布（グリスアップ）します。その際、砂や小さなゴミ、髪の毛などが付着していないか必ず確認してください。もし、砂やゴミが付着していた場合は、水で洗い流してからグリスを塗ってください。Oリンググリスが多すぎると、かえってゴミやホコリが付きやすくなり、浸水の原因となることがありますのでご注意ください。
c. Oリング面に小さな傷やひび割れ等がある場合は、絶対に使用せず、すぐにスペアのOリングに交換してください。
d. Oリングのはまっている溝、またはOリングが当たる防水面にも砂や小さなゴミ、髪の毛などが付着していないか必ず確認してください。綿棒などを利用すると、きれいに清掃できます。また、傷やひび等がないかもしっかり確認してください。
e. 上記確認ができましたら、再び溝にOリングをはめてください。その際、Oリングがねじれたり、はみだしたりしないようにセットしてください。
f. 上記しましたOリングやOリング溝のチェック、グリスアップ等は、リアケース開閉時に毎回行ってください。

注意

本製品に装着されているOリングには、含油タイプを使用しています。グリスアップする際は、必ず付属されているOリンググリスを使用してください。付属のグリス以外を使用するとOリングが膨張し、防水性能を損ないます。

ダイビング前のチェック

スクーバダイビングにおいて、本製品をお楽しみになる前に浸水チェックすることをお勧めします。ご使用前に電源を入れた状態でハウジングを、水をはった洗い桶等に、3秒/30秒/3分間、水平を保ったまま浸してください。それぞれのテストにて万一、本体のリークセンサーランプが点灯した場合、すぐに水から出してご使用を中止し、再度、Oリングを確認してください。

注意

ボートダイビングにてハウジングを持ったままエントリーするなど、ハウジングの一方向から強い水圧がかからないよう注意してください。浸水する危険性があります。

メンテナンス

1.　海水中でご使用した後は、真水を貯めた洗い桶などにおよそ10～20分程度、ハウジングを浸しておいてください。そのときに、各ボタンやダイヤル、レバー等を数回押し回してください。

HINT!　別売の「FIXメンテナンスキット」の「ソルトアウェイ」塩害防止剤をあわせてご使用いただくことをおすすめします。

- ・洗い桶等に浸している時には、絶対にリアケースの開閉やポートの取り外しはしないでください。
- ・海水中でご使用後、そのまま放置すると細かいすき間等に塩分が残り、乾燥すると塩分が結晶となり水に溶けなくなってしまいます。結晶化した塩分は時にOリングを押し上げ、浸水の原因になる場合がございますので、必ず真水に浸けてください。
- ・真水から上げたら、弱い流水で洗ってください。強い水流を一定方向から当てると浸水の原因となりますので、絶対に行わないでください。
- ・水中でのご使用後は、ハウジングの接合部に水滴等が残っています。乾いたタオル等でよく拭いて、カメラ本体に水滴が垂れないようご注意ください。
- ・水洗い後は、乾いた柔らかい布等で水気をよく拭き取ってください。炎天下での直射日光による乾燥や、ドライヤーやストーブによる乾燥は、故障や変形、破損の原因となりますので絶対に行わないでください。

2. 長期間ご使用にならない時は、Oリングに付属のシリコングリスを薄く塗ってから保管してください。Oリングは1年毎に交換されることをお勧めします。また、ご使用頻度により2、3年に1度のオーバーホールをお勧めします。

- ・ハウジングをシンナー、ガソリン、ベンジン等の揮発性有機溶剤、また化学洗浄剤等でのクリーニングは絶対にしないで下さい。
- ・クリーニングは柔らかい布等で傷がつかないように注意して行って下さい。
- ・ハウジングを直射日光下に放置しないでください。また真夏の車の中など高温になる場所への放置、保管はやめてください。内部温度が上昇して防水機能等に損傷が生じることがあります。

HINT!　別売りの『FIX メンテナンスキット』をご使用いただくと、効果的に機材のメンテナンスを行うことができます。

保証規定

当社は、取扱説明書の注意事項にしたがったお取り扱いにより本製品が万一故障した場合、お買い上げ日から満一年間無料修理をいたします。浸水等によりご使用のデジタルカメラに損害が生じた場合、いかなる理由でも、デジタルカメラ本体に対する補償はございません。ご使用になるカメラ本体には「保険」をおかけいただくなど、ご使用者ご自身での対処をお願いいたします。また、本製品の故障に起因する付随的損害(ダイビングや撮影に要した旅行費用等の諸費用、及び撮影により得られる利益の喪失など)については補償しかねます。また、保証期間の内外によらず修理時の運賃、諸掛かりはお客様においてご負担をお願いいたします。

保証期間内でも次のような場合には有料修理になります。
1. 使用上の誤り (取扱説明書の取扱上の注意事項等以外の誤操作等) により生じた故障。
2. 当社以外で行われた修理、改造、分解等による故障。
3. お買い上げ後の輸送、落下、衝撃等による故障及び損傷。
4. 火災・地震・水害・落雷その他の天災地変、公害による故障及び損傷。
5. 保管上の不備 (高温、多湿の場所、有害薬品のある場所での保管) や手入れの不備等による故障。
6. 砂・泥・水かぶり等が原因で発生した故障。
7. 保証書のご提示がない場合、または保証書の記載事項を訂正された場合。

＊本製品の故障に起因する付属的障害（撮影に要した諸費用や逸失利益等）については補償いたしかねます。
保守パーツは製造打ち切り後、5年間在庫しております。
また、当製品にはボタンやスイッチ部分にOリング等消耗品が使われております。2年ごと、もしくは長期間ご使用になられなかった場合、オーバーホール（有償）をおすすめします。

保証書

お名前

ご住所　〒

TEL

購入日	年　月　日から1年間
品名	Nikon1 V2 対応防水ハウジング
品番	NA-V2
製造番号	
販売店名	＊必ず販売店名印を押して下さい。

「販売店名印」「購入日」の記入をご確認ください。
記入無き場合は無効となりますので、直ちにお買い上げ店までお申し出ください。
本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保存してください。

株式会社フィッシュアイ　〒171-0052 東京都豊島区南長崎6-19-1 TEL:03-5996-5637 FAX:03-5996-7202

www.fisheye-jp.com　**E-mail:info@fisheye-jp.com**

ご購入後のメンテナンス・修理等は株式会社フィッシュアイにて承ります

フィッシュアイカスタマーサービス　03-5988-0191　cs@fisheye-jp.com